

幼保連携型認定こども園

みどりこども園





～ 理 念 ～

助け合いの精神をもって、一人ひとりの子どもの心と健やかな育ちを大切にしながら丁寧に保育し、子どもにとって心豊かで安定した生活の場となるように努め、保護者との信頼関係を持って子育て支援を行い、地域に必要とされるこども園を目指す。

～ 教育・保育目標 ～

『たくましいからだ やさしいところ がんばるちから』

- (1) 基本的な生活習慣・態度を身につけ、何事にも意欲的に取り組める健全な心と身体を育てる。
- (2) 集団生活を通して、人への信頼感を深め、思いやりや感謝の心を育てる。
- (3) 生命、自然及び身近な社会生活に興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力を育てる。
- (4) 日常の会話や、絵本・童話などに親しむことを通じて、話したり、聞いたり、理解しようとする態度を育てる。
- (5) 音楽、身体による表現、造形などに親しみ、豊かな感性、表現力、創造性を育てる。
- (6) 快適な生活環境の中で、子どもとの信頼関係を築き、生命の保持及び情緒の安定を図る。



施設 鉄骨造り 平屋建て 敷地面積 4,983.46㎡ 建物面積 1,167.95㎡ 延床面積 950.64㎡

沿革 昭和28年4月1日 みどり保育所開設

平成27年4月1日 幼保連携型認定こども園開設

事業内容 幼稚園部 1号認定(3・4・5歳児) 定員15名

保育園部 2号・3号認定(0～5歳児) 定員75名

延長保育 一時預かり保育 障害児保育 乳幼児子育て応援事業

開園時間 7:30～19:00(日曜・祝日及び年末年始休業)

職員の配置状況 園長 主幹保育教諭 常勤保育教諭 非常勤保育教諭 子育て支援員

常勤栄養士 非常勤栄養士 調理師 調理員 嘱託医 学校薬剤師 介助員



みどりこども園の1年

4月

入園式
5歳児園外保育 健康診断



5月

こどもの日の集い 親子遠足
養徳会まつり 4・5歳児園外保育
耳鼻科健診・眼科健診



6月

さつま芋の苗植え 交通安全教室
歯科健診 保育参加・引き渡し訓練
4・5歳児園外保育



7月

たなばたまつり
お泊り保育(5歳児)



8月

プール遊び
川遊び



9月

運動会



10月

さつま芋掘り 老人福祉施設訪問
健康診断 思い出遠足
ハロウィンパーティー



11月

ふれあいまつり
消防教室



12月

マラソン
クリスマス音楽会
クリスマス会



1月

マラソン
多可町図書館体験(4・5歳児)
祖父母との触れ合い



2月

節分
発表会
入園説明会



3月

ひなまつり会 ありがとうの会
園外保育 お別れ会
卒園式 修了式



乳児クラス(0~2歳児)

乳児クラスでは、特定の保育士が特定の園児を継続的に担当し、援助する育児担当制保育を取り入れています。一人ひとりの生活リズムに合わせた保育をすることで、保育者との愛着関係を築き、生活とあそびの中でさまざまな子どもの発達を丁寧に育んでいきたいと考え保育をしています。



生活のながれ

- 8:00~ 登園
 - 9:00~ おやつ (0・1歳児)
 - 10:00~ 戸外遊び 室内遊び 散歩など
(個々の育ち・年齢に応じた保育)
 - 11:00~ 給食 午睡
 - 14:30~ 目覚め おやつ
 - 15:00~ 好きな遊び
- 順次降園



幼児クラス(3~5歳児)

自然いっぱいの環境の中で、子ども達の主体性を生かした遊びを展開し、友だちとの関わりや話し合いの場を大切にすることで、個々のまなびを深めています。友達や保育者に支えられる中で、自尊心を高め、ねばり強く生きる力を育む保育を目指しています。



生活のながれ

- 8:00~ 登園 持ち物の片づけ
- 9:00~ わくわくタイム(園児が主体的に遊ぶ時間)
- 10:15~ クラス活動
(朝の会 絵本の読み聞かせ 運動遊び 造形遊び
リズム遊び 伝承遊び 園外保育 など)
- 11:30~ 給食
- 13:30~ 幼稚園部降園
保育園部 (3~4歳児午睡 5歳児好きな遊び)
- 14:30~ 目覚め おやつ
- 15:00~ 好きな遊び 順次降園



わくわくタイム

「やってみたい!」「どうしたらいいんだろう」「やった!できた!」子ども達のたくさんのワクワクがあふれる時間。毎日、約束されたこの時間には、育ちを促すいろいろなエッセンスが「こっちだよ!」と子どもたちを待っています。たくさんの不思議や学びに会える、子どもたちにとって何よりも大切に大好きな時間です。



わくわくタイムHISTORY-たんぽぽ組（4歳児）

子ども達の「やってみたい」から始まる物語 ~お店屋さんごっこ編~

- ①「そうや!落ち葉のプールつくろう!」
- ②「プールは何個作る?」
- ③「聞いてくださーい!」
「落ち葉のプール開いていますよ!」
- ④「何人ですか?」
「こちらへどうぞ!」



園外保育に出かけたある日、たくさんの落ち葉を見て、ひらめきました。



話し合いをして約束やルールを忘れないように書き込んでいます。



落ち葉のプールがもうすぐ開店することや遊ぶ際の約束などを、他のクラスにも伝えていきます。



お客さんの接客や案内も子どもたちで役割を決めて演じています。

- ⑤「落ち葉のプール最高〜!」 やったね!大成功!



小さな園児から年長さんまでたくさんのお客さんが、ボールプールで思う存分楽しんでいました。いい笑顔でしょ!



ー エピローグ ー

一人の園児のひらめきから始まり、大成功に終わった「落ち葉のプール屋さん」。成功するまでにはいろいろな問題がありました。自分の思いを伝え、時にはぶつかり合いながら、友だちの意見を受け入れることの難しさを学びました。友達の頑張っている姿を見て、アイデアを出したり、手伝ったりしてくれる子も出てきました。「落ち葉のプール屋さん」がきっかけで、その後みどりこども園に、たくさんのお店が開店して行きました。みんなで支え合い、「やってみたい」を実現し、作り上げた子ども達は多くの学びを得られたことでしょう。

わくわくタイムHISTORY-すみれ組（5歳児）

失敗は成功への近道！意欲あふれる子ども主体の活動へ～飯盒炊飯と火起こし実験編～

－ プロローグ － 1

クラスでのミーティング時に、ご飯を炊いてみたいという話が持ち上がり、火も自分たちでつけるということになりました！飯盒炊飯の方法、火のつけ方を考えて本番の日を迎えましたが・・・

※火を扱う時は、必ず保育者の見守りの中、安全に配慮し行っています。

①『煙しか出えへん！』
『むずかしいなあ』



自分たちで火種を作ろうと頑張りましたが、最後はライターのを借りました。

②『早くできないかな、食べるの楽しみ。』
『あれ、なんか煙が出てるよ！』



みんな安心して様子を見ていましたが、気がつくや飯盒から煙のようなものが！

③『えー。焦げてもた。』
『がっかり・・・』



すぐに火から下ろし、中身を確認すると、そこには焦げたご飯が・・・

④『失敗』がみんなのやる気に火をつけました！



この後、話し合いを行いたくさんの反省点が出ました。次は成功させるとリベンジを誓い、みんなやる気満々です。

⑤『水が出てきた！』
『水が出なくなったら出来上がりやで！』



前回のリラクスムードとは違う緊張感が漂う中、集中して飯盒の様子を見えています。

⑥『やった！真っ白や！』
『大成功やー！』



見事にリベンジ成功！完璧な出来栄えに大満足の様子で、自然と笑みがこぼれます。

⑥上手に炊けました！
『白いご飯も、さつまいもご飯もおいしー！』



自分たちで掘ったさつまいもを入れたご飯も作りました。1回目の飯盒炊飯とは明らかに違う出来栄えに、子ども達は自信に満ちた目をしていました。

－ プロローグ － 2

飯盒炊飯の大成功以降も、“自分たちで火をつけたい、”という思いは消えず、火の実験は続きました。

季節が移り変わるにつれて、子ども達の思いは“自分たちで起こした火を使って焚火をしたい、”という目標に変わり、色々な方法で火を付けようと試みました。そんな中、一人の園児が新たに調べてきた方法で、火をつける事ができるようになったのです。

⑦季節は巡り冬のわくわくタイム！
『火をこっちにつけて、よし付いた』



スチールウールと9V電池を使って、火をつけられるようになりました。

⑧『焚き火あったかいなあ。』



念願の焚き火に成功し暖を取っていると、自然とみんなが集まってきました。

⑨『もうちょっとでマシュマロ焼けるから、待っててね！』



焼きマシュマロの存在を知り、みんなにご馳走してあげるようになりました！

⑩『甘ーい！』
『ふわふわや！』



『おいしい♡』
みんな大喜び！

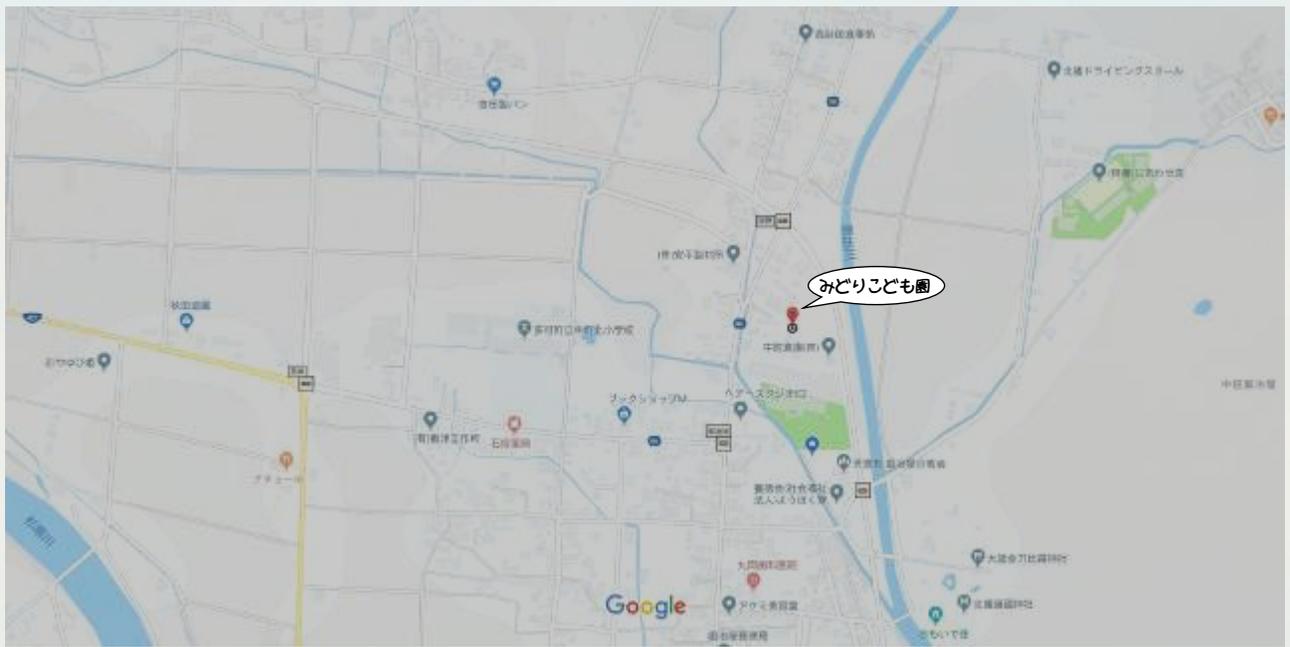
全ての遊びは子どもの育ちに繋がっているのだと改めて感じました。

－ エピローグ －

一度は失敗してしまった飯盒炊飯でしたが、その失敗が子ども達のやる気を起こす大きなきっかけとなりました。一度目の失敗のあと、クラスで話し合いを繰り返し、何度も飯盒炊飯の方法を確認することで、2度目の時には飯盒や薪の準備、お米に対しての水の量など、子ども達だけでほとんど進めることができていました。

その後も、火の実験はわくわくタイムの時間に長く続き、何度失敗しても、諦めずに成功させることができました。自分たちで起こした火で暖を取ったり、マシュマロを焼いて振る舞ったりと子ども達が自らの力でやり遂げた体験は多くの学びに繋がっていきました。

「失敗は成功の元」という言葉があります。今回の活動はその言葉を実際に体験できる、素晴らしい機会となりました。大人に導かれるままに、何事もなくたくさんの成功体験を積み上げることよりも、失敗から奮起し、チャレンジしていく主体的な取り組みの中の育ちが、とても大切なのだと感じました。



社会福祉法人養徳会 みどりこども園

〒679-1103 兵庫県多可郡多可町中区牧野52 TEL0795-32-3927 FAX0795-32-2377



よい子ネット

インスタグラム

